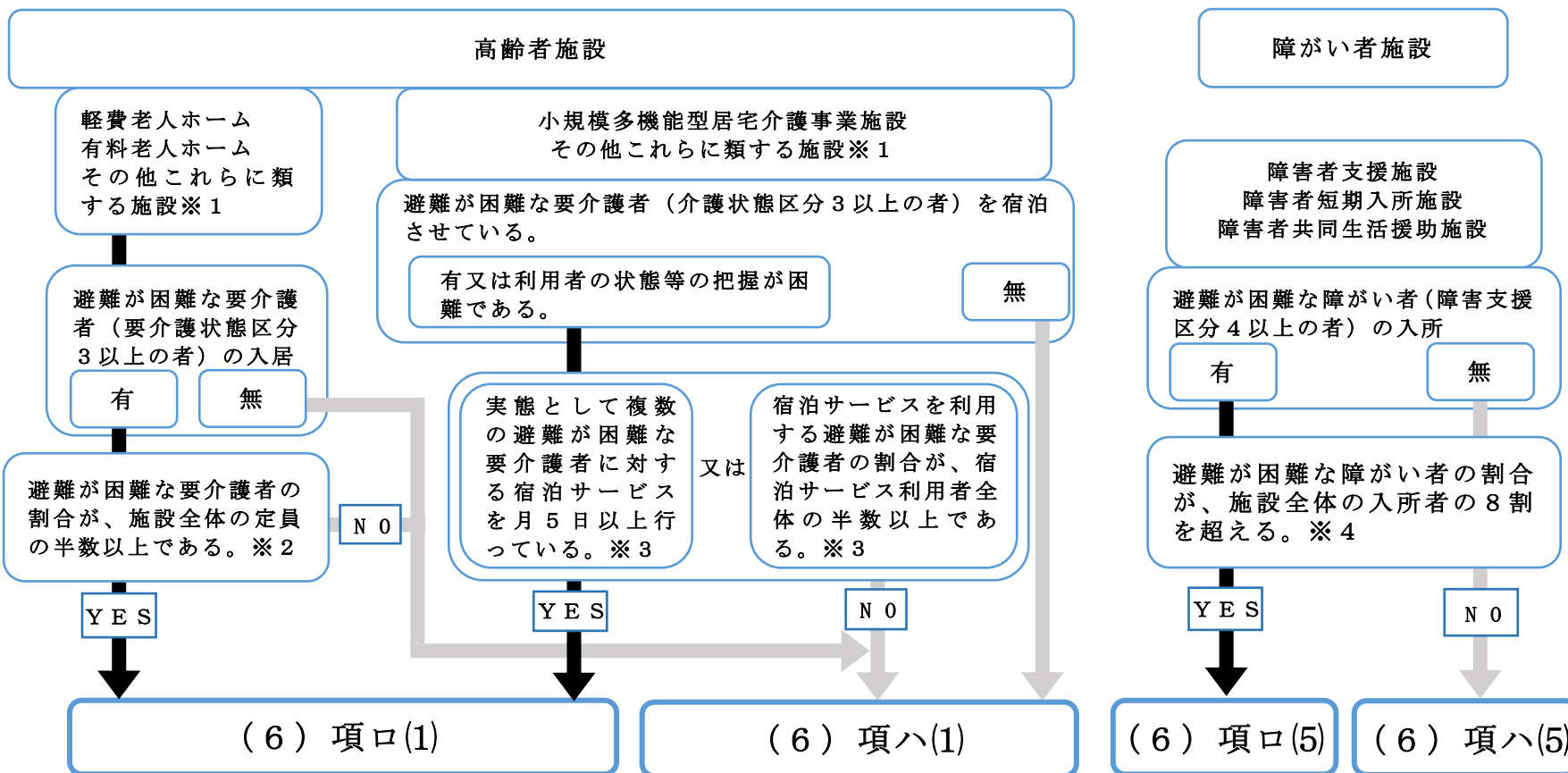


(6) 項口及びハ判定フローチャート



※1 その他これらに類する施設とは、高齢者に対して業として入浴、排せつ、食事等の介護、機能訓練又は看護若しくは療養上の管理その他の医療を提供する施設を言う。

※2 入居又は宿泊の状況について、利用者が比較的短期間に入れ替わる等の事情により用途が定まらない場合には、施設の定常的な状態として避難が困難な要介護者を主として入居又は宿泊させている日数の割合が、3ヶ月間において半数以上である場合、又は、介護居室（一般居室において介護サービスが行われる場合も介護居室として取り扱って差し支えないものである。）の割合が半数以上である場合に、(6)項口(1)と判定すること。

※3 入居又は宿泊の状況について、利用者が比較的短期間に入れ替わる等の事情により用途が定まらない場合には、施設の定常的な状態として複数の要介護者に対して宿泊サービスを提供した日が、3ヶ月間において15日以上である場合に、(6)項口(1)として判定すること。

※4 入所者が比較的短期間に入れ替わる等の事情により用途が定まらない場合は、定常的な状態として前年度の実績等の一定期間の利用者状況を確認した上で、避難が困難な障がい者等を主として入所させる日数の割合が、一定期間において半数以上になる場合は、(6)項口(5)と判定すること。

注 ※2～4のいずれの場合においても、用途区分が変更されることが考えられるため、消防用設備等の設置について、関係者等に十分に説明し、予め必要な対応を促すことが望ましいこと。